

上 島 合 併 協 議 会

第 1 回 新 町 の 名 称 ・ 事 務 所 の 位 置 検 討 小 委 員 会

会 議 資 料

日 時：平成 1 4 年 1 1 月 2 5 日（月）午後 2 時 1 0 分から
場 所：弓削町総合庁舎 3 階第 1 会議室

第 1 回新町の名称・事務所の位置検討小委員会会次第

1 . 開 会

2 . 議 事

委員長・副委員長の選出 1 ページ

小委員会の開催場所について 1 ページ

新町の名称候補の公募方法について 2 ページ

新町の事務所について13 ページ

3 . その他

4 . 閉 会

(1) 委員長及び副委員長の選任について

職 名	氏 名	所属町村	備 考
委 員 長			
副委員長			

【参 考】

新町の名称・事務所の位置検討小委員会委員名簿

委員区分	選出町村	役 職 等	氏 名	備 考
第1号委員 のうち助役	弓 削 町	助 役	毎 木 正 博	
		議会議長	越智 貴美夫	
	生 名 村	助 役	濱 田 光	
		議会議長	原 山 公 男	
第2号委員	岩 城 村	助 役	沼 田 裕 章	
		議会議長	新 川 健	
	魚 島 村	助 役	松 原 彌 一	
		議会議長	泉 原 光 雄	
第4号委員	弓 削 町	学識経験者	島 根 亀 夫	
	生 名 村	学識経験者	平 林 和 夫	
	岩 城 村	学識経験者	加 納 清 二	
	魚 島 村	学識経験者	大 林 貞 光	

(2) 小委員会の開催場所について

【参 考】

- ・協議会・・・・・・・・・・各町村持ち回り
- ・将来構想策定小委員会・・弓削町

新町の名称候補の公募方法について（案）

（１）範 囲

全国
４ヶ町村内及び出身者
愛媛県内
その他

（２）応募方法

はがき
専用応募用紙（用紙については業者委託）
Ｅメール
FAX
封書
その他

（３）周知方法

協議会だより
広報
ホームページ
その他

（４）公募期間

１ヶ月程度
２ヶ月程度
その他

（５）記載内容

新町の名称（ふりがな）
名称の理由
住所、氏名、年齢、電話番号
その他

(6) 応募条件

既存の市町村名にない名前

現 4 ヶ町村名は使用しない

年齢、応募口数 (1 人あたり)

他に何か制限を設ける

- ・ 読み書きが容易な名称
- ・ 地理的にイメージできる名称
- ・ その他

(7) 選定方法

全応募を小委員会において数点選定し協議会に諮る。

- ・ 小委員会委員が何種類か選考し、協議会に諮る。
- ・ 小委員会委員が何種類か選考し、その候補を現住民に再度アンケートをとり、その結果を踏まえ協議会に諮る。

その他

(8) 懸賞

有

- ・ 名付け親大賞 1 名 賞金・商品・商品券 (図書券等も含む)
(決定された名称への応募者の中から 1 名を大賞とする。)
- ・ 名付け親賞 数名 商品・商品券 (図書券等も含む)
(決定された名称への応募者の中から数名を親賞とする。)
- ・ アイデア賞 数名 商品・商品券 (図書券等も含む)
(協議会へ諮った名称候補の中から数名)
- ・ ユーモア賞 数名 商品・商品券 (図書券等も含む)
(特にユニークな名称、児童・生徒による作品等)
- ・ その他

無

上島 4 ヶ町村の名前の由来

弓 削 町

「弓削」とは弓を削ること、つまり弓を作ること。日本書紀には「弓部」とあり、「ゆげ」または「ゆみべ」と読ませていた。

これに、後になって「弓削部」という字をあてるようになったという。ともあれ、当時の重要な武器の一つである弓を作る職業集団としての「弓削部」があり、これが全国各地に分散していた。そのひとつに当島があったと考えられる。

生 名 村

朝鮮半島から海を越えてやってきた人々の命名によるらしい。「イキ」は古代朝鮮語で「善・好・美・上等」などを意味し、「ナ」は「国・土地」を意味する。

岩 城 村

古代部族名による、とか、平安期岩清水八幡の荘園となった、とか、多説あるが、魏志倭人伝中に、己百支（いわき）国として、すでにその名があり、確たるものは不明。

魚 島 村

本来住民が居住するにいたった時期は明らかでないが、魚島、高井神島ともに弥生土器がしばしば発掘されていることから本村の古い文化と歴史がしのばれる。また、大木の祭祀遺跡から発見された鉄艇からも、5、6世紀には大和朝廷と古代朝鮮との交流の寄港地として殷賑を極めていたことがうかがわれる。

村名の起源は、本村周辺の海域が魚類の来集多い好漁場として知られ、また、住民も専ら漁業を生業としていたところから起こったと伝えられる。

【町村庁舎の概要】

	弓 削 町	生 名 村	岩 城 村	魚 島 村
住 所	弓削町下弓削 2 1 0 番地	生名村 6 2 1 番地	岩城村 1 4 2 7 番地	魚島村 1 番耕地 1 3 6 2 番地の第 1
竣 工	昭和 4 9 年 1 0 月 3 1 日	昭和 5 9 年 7 月 3 1 日	昭和 4 0 年 5 月	昭和 4 5 年 8 月 1 0 日
施設規模	RC 造 3 階建塔屋 1 階	RC 造 2 階建	RC 造 4 階建	RC 造 3 階建
敷地面積	2 , 7 5 8 m ²	3 , 2 3 4 m ²	4 3 1 m ²	4 1 5 m ²
延床面積	2 , 1 3 5 m ²	1 , 7 0 4 m ²	1 , 1 0 5 m ²	4 2 5 m ²
駐車台数 (来庁者用)	約 1 5 台	約 1 5 台	約 8 台	無
交 通	弓削港から徒歩 1 分	生名港から徒歩 5 分 立石港から徒歩 2 0 分	岩城港から徒歩 3 分	魚島港から徒歩 1 分

主 な 公 共 施 設

() 内数字は個数を表す

	弓 削 町	生 名 村	岩 城 村	魚 島 村
文化 教育 施設	中央公民館 町民体育館 中崎公園 鎌田運動公園 佐島農村運動公園 保育所 幼稚園 小学校(2) 中学校	公民館 体育館 村民グラウンド テニスコート クロッケー場 スポレク公園 サウンド波間田 保育所 小学校 中学校	公民館 総合運動場 コミュニティーアイランド 保育所 小学校 中学校 高校分校 郷土館	公民館 小学校(2) 中学校(2) 保育園 集会所(3) みんなの広場
福 祉 施 設	老人福祉センター 保健センター 高齢者生活福祉センター 海水温浴施設	保健センター 老人デイサービスセンター	高齢者生活福祉センター 保健センター	診療所(2) 保健福祉センター
そ の 他 施 設	開発総合センター CATV 局舎 国民宿舎 健康増進センター コミュニティーセンター 清掃センター 斎場 下水道終末処理場(2)	離島開発総合センター 港務所(2) ごみ焼却場 火葬場	開発総合センター コミュニティーセンター 観光センター 生活文化センター クリーンセンター 農水産物処理加工場 下水道終末処理場(3) 堆肥センター	離島開発センター 観光センター 冷凍冷蔵施設 水産加工場 稚魚中間育成施設 コミュニティープラント(2) 簡易水道 簡易水道海水淡水化施設 港務所(2) 火葬場(2) ごみ焼却場(2)

	弓 削 町	生 名 村	岩 城 村	魚 島 村
広域施設	上島上水道企業団 島部消防上島出張所	特別養護老人ホーム し尿処理場		
国施設	郵便局（特定集配1、簡易2） 商船高専	郵便局（特定無集配）	郵便局（特定集配）	郵便局（特定無集配）
県施設	高校 駐在所	駐在所	高校分校 果樹試験場 駐在所	駐在所

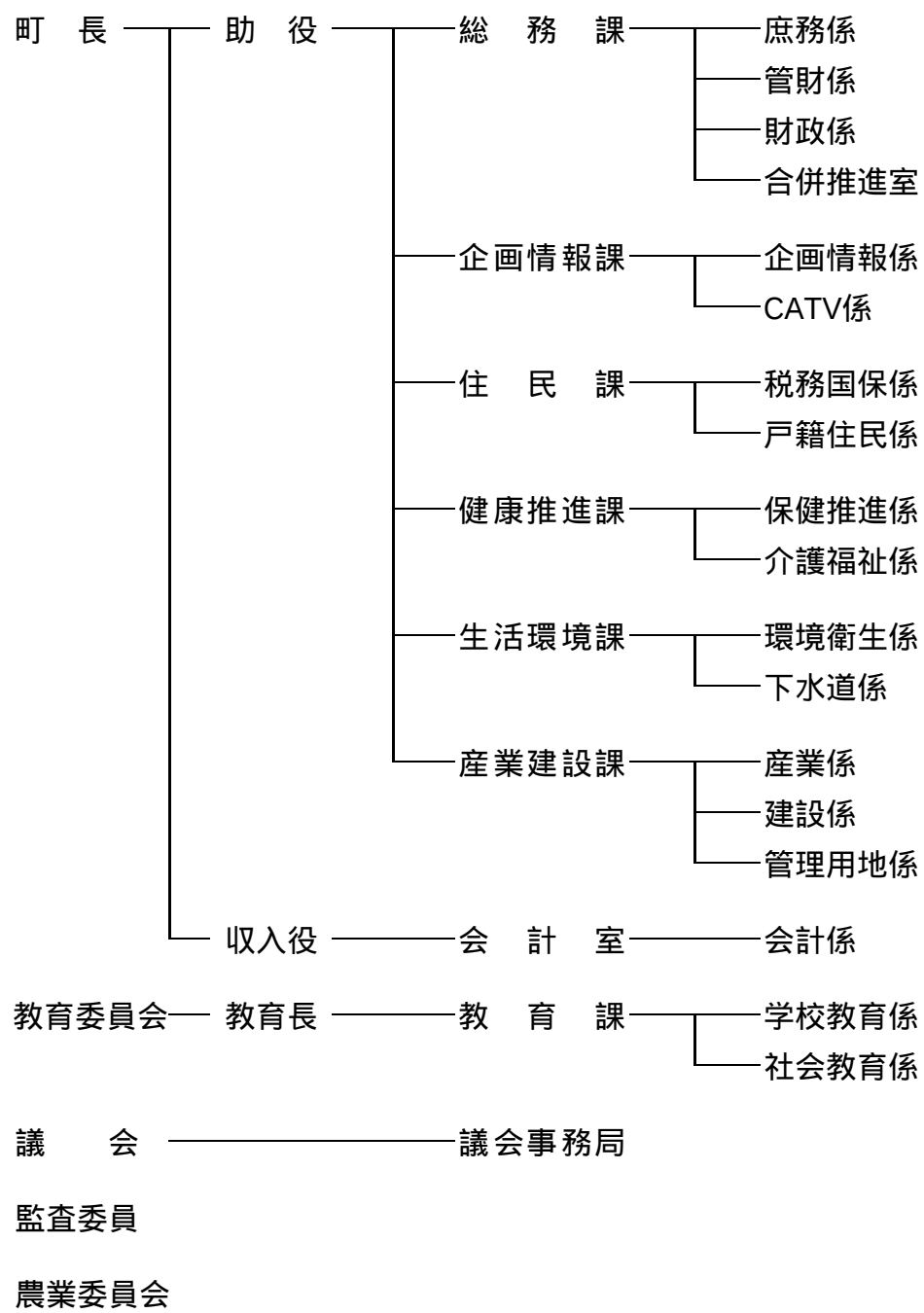
主 な 交 通 機 関

	弓 削 町	生 名 村	岩 城 村	魚 島 村
今 治 か ら	快速船 1時間 9便/日 フェリー 1時間50分 1便/日	快速船 1時間10分 9便/日 フェリー 2時間3分 1便/日	快速船 47分 9便/日 フェリー 1時間30分 1便/日	弓削港より村営汽船 45分 4便/日
因 島 か ら	快速船 10分 9便/日 フェリー 20分 4便/日 弓削汽船 15分 28便/日 家老渡 10分 20便/日	快速船 5分 9便/日 フェリー 12分 4便/日 村営汽船 5分 49便/日	快速船 23分 9便/日 " 7分 5便/日 フェリー 45分 4便/日 長江 15分 20便/日 金山 20分 6便/日 洲江 5分 24便/日	村営汽船 1時間2分 4便/日
尾 道 か ら	高速フェリー 48分 6便/日			
各 町 村 か ら	快速船及び魚島丸で算出 生名村 5分 岩城村 13分 魚島村 45分 計 63分	快速船及び魚島丸で算出 (乗り継ぎ時間は含まない) 弓削町 5分 岩城村 18分 魚島村 50分 計 73分	快速船及び魚島丸で算出 (乗り継ぎ時間は含まない) 弓削町 13分 生名村 18分 魚島村 58分 計 89分	快速船及び魚島丸で算出 (乗り継ぎ時間は含まない) 弓削町 45分 生名村 50分 岩城村 58分 計 153分

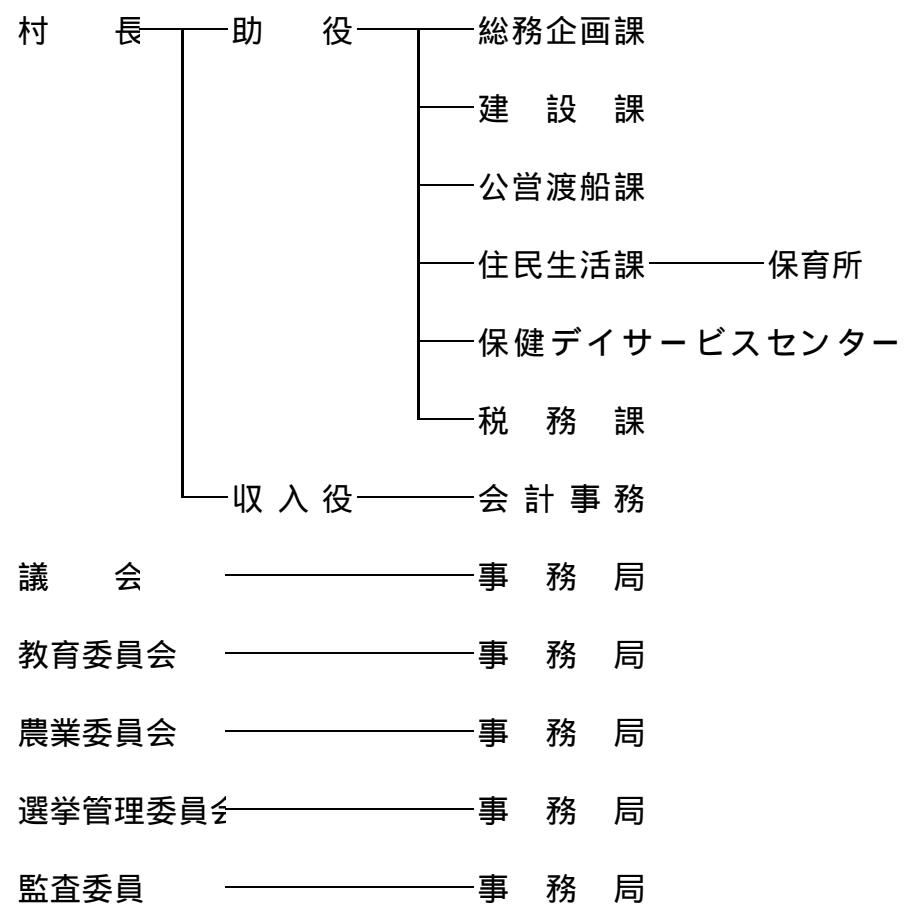
今治・因島・尾道からは直通便で算出

平成 1 4 年 度 組 織 図

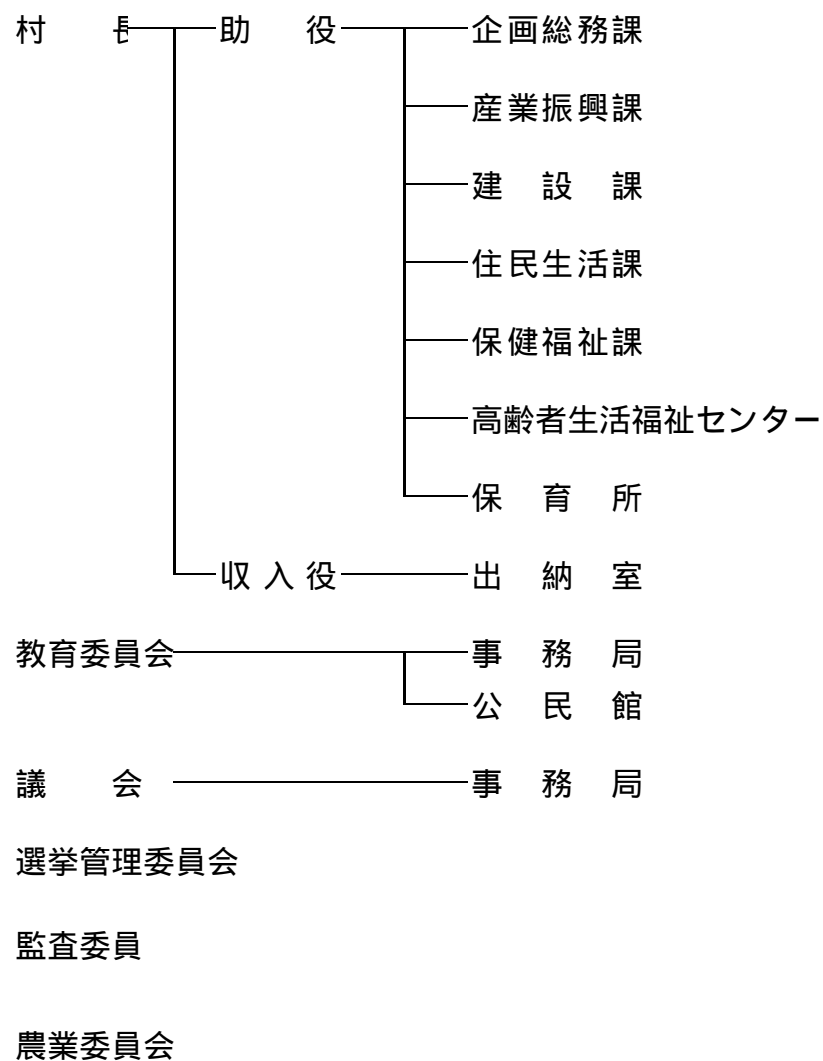
弓 削 町



生 名 村



岩 城 村



魚 島 村

